各研究科等における学位論文に係る評価基準

2026 年 4 月現在

研究科	課程	学位論文の評価基準
教育学研究科	修士	下記の評価項目すべてについて、学位論文としての水準を満たしていると認められたものを合格とする。 1. 法令・研究倫理の遵守 研究が法令および研究倫理を遵守したものであること 研究が他者の権利を侵害していないこと 2. 研究目的 研究目的が学術的・社会的に意義を持ち、学校教育に寄与するものであること 研究目的が明確な問題意識を基にしたものであること 3. 研究方法 研究目的に沿った実証的・科学的な方法による研究であること 研究結果の裏付けとなる具体的な情報を含むものであること 4. 研究成果 研究方法および研究結果について適切な論証と考察が行われていること 研究で得られた結果と整合する説得性のある結論が導かれていること 5. 論述方式 学術論文に相応しい明快で論理的な構成がとられていること 先行研究または関連研究の適切な引用および評価が行われていること

研究科	課程	学位論文の評価基準
情報学研究科	博士前期	下記の評価項目すべてについて，学位論文としての水準を満たしていると認められたものを合格とする。 1. 研究倫理 研究の内容は，関連する法令等や研究倫理を遵守していること 内容や文章などに捏造・改ざん・盗用がないこと 2. 研究の目的 研究の目的が学術的あるいは社会的に意義を持つものであること 研究目的が明確な問題意識と位置づけを基にしたものであること 3. 研究方法 研究目的に沿った実証的・科学的に妥当な方法による研究であること 研究結果を再現できる具体的な情報か，方法論の妥当性を確認できる情報を含むこと 4. 研究成果 研究結果について適切な論証と考察が行われていること 研究で得られた結果と整合性・説得性のある結論が導かれていること 5. 論文の体裁 学術論文として誤りや曖昧性がなく，明快で論理的な構成がとられていること 先行研究あるいは関連研究に対する適切な引用，評価が行われていること 6. 研究成果の公表 当該プログラムが定める学会発表等（発表予定を含む）を行っていること

研究科	課程	学位論文の評価基準
情報学研究科	博士後期	下記の評価項目すべてについて，学位論文としての水準を満たしていると認められたものを合格とする。 1. 研究倫理 研究の内容は，関連する法令等や研究倫理を遵守していること 内容や文章などに捏造・改ざん・盗用がないこと 2. 研究の目的 研究の目的が学術的あるいは社会的に意義を持つものであること 研究目的が明確な問題意識と位置づけを基にしたものであること 3. 研究方法 研究目的に沿った実証的・科学的に妥当な方法による研究であること 研究結果を再現できる具体的な情報か，方法論の妥当性を確認できる情報を含むこと 4. 研究成果 研究結果について適切な論証と考察が行われていること 研究で得られた結果と整合性・説得性のある結論が導かれていること 5. 論文の体裁 学術論文として誤りや曖昧性がなく，明快で論理的な構成がとられていること 先行研究あるいは関連研究に対する適切な引用，評価が行われていること 6. 研究の独創性 研究が当該分野において先駆的・独創的なものであること 7. 研究成果の公表 博士論文審査基準で定める数以上の論文を査読つきの学術誌に公表(掲載決定を含む)していること

研究科	課程	学位論文の評価基準
医学系研究科	修士	生命医科学専攻では本専攻の理念に合致し，高い学術的価値を有し，かつ医学・医療の発展に寄与する学位論文を修士論文とする。 論文の学術雑誌への投稿は要求しないが，投稿に足りうるだけの内容を備えていることを条件とする。 下記の評価項目すべてについて，学位論文としての水準を満たしていると認めたものを合格とする。 1. 研究倫理 学位論文の内容が，関連する法令や研究倫理を遵守していること 内容や文章などに捏造・改ざん・盗用がないこと 必要に応じ，各種倫理委員会の承認を得ていること 2. 新規性・独創性 過去の研究を発展させ，新たな知見が得られていること 内容や文章などに他の論文からの剽窃がないこと 3. 論文内容 以下の点が明確に記載されていれば，順序は下記のとおりでなくとも良い。 1)要旨(Abstract) 論文の内容を明確かつ簡潔に述べていること 2)緒言(Introduction) 研究の背景を詳述し，研究目的をわかりやすく記載していること 必要な文献は適切な形式で引用されていること 3)材料と方法(Materials and Methods) 研究材料や実験動物等の入手先が明示されていること 研究方法は他者が再現するのに十分なだけの情報が含まれていること 4)結果(Results) 研究結果が論理的な順序で並べられ，簡潔明瞭に記載されていること

医学系研究科	修士	5)討論(Discussion) 必要な文献を適切に引用しながら研究結果を論理的に解釈していること 研究結果の意義について記載されていること 6)図表(Figures and Tables) 研究結果が明示されていること 研究結果の記載や解釈と乖離や矛盾はないこと 7)引用文献(Reference) 他の出版物からの考えや文章に言及する場合, 適切な方法で本文中と文献リストで出典が明らかにされていること

研究科	課程	学位論文の評価基準
医学系研究科	博士	提出者を筆頭著者とする原著論文で学術誌(査読のあるもの、英文学術誌が望ましい、オンラインの英文学術誌を含む。)に掲載されたもの(掲載許可を得たものを含む。)若しくはこれに準ずると認められるものであること、又は学術誌に査読を経て掲載された筆頭著者論文を基に英文で作成された単著のテーシス形式のものを審査対象とし、下記の評価項目すべてについて、学位論文としての水準を満たしていると認められたものを合格とする。 1. 研究倫理 学位論文の内容は、関連する法律や研究倫理を遵守したものであること 内容や文章などに捏造・改ざん・盗用がないこと 必要に応じ、各種の倫理委員会等の承認を得ているものであること 2. 研究目的 研究目的が学術的あるいは社会的に意義を持つものであること 研究目的が明確な問題意識と位置づけを基にしたものであること 3. 研究方法 研究目的に沿った実証的・科学的な方法による研究であること 研究結果を再現できるだけの具体的な情報を含むものであること 4. 研究成果 研究方法、研究結果について適切な検証と考察が行われていること 研究で得られた結果と整合性・説得性のある結論が導かれていること 5. 論文の体裁 学術論文として明快で論理的な構成がとられていること 先行研究あるいは関連研究に対する適切な引用、評価が行われていること 6. 研究の独創性 研究が当該分野において先駆的・独創的なものであること

研究科	課程	学位論文の評価基準
保健学研究科	博士前期	修士論文および課題研究では、新規性や応用性において、保健学の分野で学術的意義があるかについて3人以上の審査員により審査し、以下の評価項目を満たしているものを合格とする。 評価項目 1. 研究倫理 研究の内容は、関連する法令や研究倫理指針を遵守していること。（必要に応じ、各種倫理委員会の承認を得ていること。） 内容や文章などに捏造・改ざん・盗用がないこと。 2. 独創性・新規性 先行研究を十分に検討・吟味したうえで、独自の発想に基づく新規の研究であること。 3. 信頼性と妥当性（正確性・再現性） 再現性や精度などの信頼性が高く、また、適切性や普遍性などの妥当性が高い研究であること。 4. 論理性 研究内容が明瞭に記述され、結論にいたる道筋が論理的なものであること。 5. 学術的意義 学術的意義を有するとともに発展性や応用性があり、社会に貢献する内容であること。

研究科	課程	学位論文の評価基準
保健学研究科	博士後期	博士論文では、選定された学術専門雑誌に掲載の提出者を筆頭著者とする原著論文を対象に、独創性に優れ高い学術的意義を有しているかについて、3人以上の審査委員により審査し、以下の評価項目を満たしているものを合格とする。 評価項目 1. 研究倫理 研究の内容は、関連する法令や研究倫理指針を遵守していること。（必要に応じ、各種倫理委員会の承認を得ていること。） 内容や文章などに捏造・改ざん・盗用がないこと。 2. 独創性・新規性 先行研究を十分に検討・吟味したうえで、独自の発想に基づく新規の研究であること。 3. 信頼性と妥当性（正確性・再現性） 再現性や精度などの信頼性が高く、また、適切性や普遍性などの妥当性が高い研究であること。 4. 論理性 研究内容が明瞭に記述され、結論にいたる道筋が論理的なものであること。 5. 学術的意義 学術的意義を有するとともに発展性や応用性があり、社会に貢献する内容であること。

研究科	課程	学位論文の評価基準
理工学府	博士前期	下記の評価項目すべてについて、学位論文としての水準を満たしていると認められたものを合格とする。 1. 研究倫理 研究の内容は、関連する法令等や研究倫理を遵守していること 内容や文章などに捏造・改ざん・盗用がないこと 2. 研究の目的 研究の目的が学術的あるいは社会的に意義を持つものであること 研究目的が明確な問題意識と位置づけを基にしたものであること 3. 研究方法 研究目的に沿った実証的・科学的な方法による研究であること 研究結果を再現できるだけの具体的な情報を含むものであること 4. 研究成果 研究結果について適切な論証と考察が行われていること 研究で得られた結果と整合性・説得性のある結論が導かれていること 5. 論文の体裁 明快で論理的な構成がとられていること 先行研究あるいは関連研究に対する適切な引用、評価が行われていること 6. 研究成果の公表 当該プログラムが定める学会発表等（発表予定を含む）を行っていること

研究科	課程	学位論文の評価基準
理工学府	博士後期	下記の評価項目すべてについて、学位論文としての水準を満たしていると認められたものを合格とする。 1. 研究倫理 研究の内容は、関連する法令等や研究倫理を遵守していること 内容や文章などに捏造・改ざん・盗用がないこと 2. 研究の目的 研究の目的が学術的あるいは社会的に意義を持つものであること 研究目的が明確な問題意識と位置づけを基にしたものであること 3. 研究方法 研究目的に沿った実証的・科学的な方法による研究であること 研究結果を再現できるだけの具体的な情報を含むものであること 4. 研究成果 研究結果について適切な論証と考察が行われていること 研究で得られた結果と整合性・説得性のある結論が導かれていること 5. 論文の体裁 明快で論理的な構成がとられていること 先行研究あるいは関連研究に対する適切な引用、評価が行われていること 6. 研究の独創性 研究が当該分野において先駆的・独創的なものであること 7. 研究成果の公表 当該領域が定める数以上の論文を査読つきの学術誌に公表(掲載決定を含む)していること

研究科	課程	学位論文の評価基準
食健康科学研究科	修士	下記の評価項目すべてについて、学位論文としての水準を満たしていると認められたものを合格とする。 1. 研究倫理 研究の内容は関連する法令等や研究倫理を遵守していること。必要に応じて、各種倫理委員会の承認を得ていること。 内容や文章などに捏造・改ざん・盗用がないこと。 2. 研究の目的 研究の目的が学術的あるいは社会的に意義を持つものであること。 研究目的が明確な問題意識と位置づけをもとにしたものであること。 3. 研究方法 研究目的に沿った実証的科学的な方法による研究であること。 研究結果を再現できるだけの具体的な情報を含むこと。 4. 研究成果 研究結果について適切な論証と考察が行われていること。 研究で得られた結果と整合性・説得性のある結論が導かれていること。 5. 論文の体裁 明快で論理的な構成がとられていること。 先行研究あるいは関連研究に対する適切な引用、評価が行われていること。

研究科	課程	学位論文の評価基準
パブリックヘルス学環	博士前期	本専攻の理念に合致し、高い学術的価値を有し、かつ医学・保健・ヘルスデータサイエンスの発展に寄与する学位論文を修士論文とする。論文の学術雑誌への投稿は要求しないが、投稿に足りうるだけの内容を備えていることを条件とする。 下記の評価項目すべてについて、学位論文としての水準を満たしていると認めたものを合格とする。 1. 研究倫理 学位論文の内容が、関連する法令や研究倫理を遵守していること 内容や文章などに捏造・改ざん・盗用がないこと 必要に応じ、各種倫理委員会の承認を得ていること 2. 新規性・独創性 過去の研究を発展させ、新たな知見が得られていること 内容や文章などに他の論文からの剽窃がないこと 3. 論文内容 以下の点が明確に記載されていれば、順序は下記のとおりでなくとも良い。 1)要旨(Abstract) 論文の内容を明確かつ簡潔に述べていること 2)緒言(Introduction) 研究の背景を詳述し、研究目的をわかりやすく記載していること 必要な文献は適切な形式で引用されていること 3)材料と方法(Materials and Methods) 研究材料や実験動物等の入手先が明示されていること 研究方法は他者が再現するのに十分なだけの情報が含まれていること 4)結果(Results) 研究結果が論理的な順序で並べられ、簡潔明瞭に記載されていること 5)討論(Discussion) 必要な文献を適切に引用しながら研究結果を論理的に解釈していること 研究結果の意義について記載されていること 6)図表(Figures and Tables) 研究結果が明示されていること 研究結果の記載や解釈と乖離や矛盾はないこと

		7)引用文献(Reference) 他の出版物からの考えや文章に言及する場合、適切な方法で本文中と文献リストで出典が明らかにされていること

研究科	課程	学位論文の評価基準
パブリックヘルス学環	博士後期	学位論文の審査に当たっては、以下に示す評価基準に基づき審査を行い、すべての基準を満たしていると認められたものを合格とする。 ① 本学環の理念に合致し、高い学術的価値を有し、かつ、医学・保健・ヘルスデータサイエンスの発展に寄与する研究であること。 ② 学位論文の内容が、関連する法令や研究倫理を遵守していること。 また、内容や文章などに捏造・改ざん・盗用がないこと。 ③ 過去の研究を発展させ、新たな知見が得られていること。

研究科	課程	学位論文の評価基準
医理工レギュラトリーサイエンス学環	博士前期	下記の評価項目すべてについて、学位論文としての水準を満たしていると認められたものを合格とする。 ① 研究倫理 研究の内容は関連する法令等や研究倫理を遵守していること。必要に応じて、各種倫理委員会の承認を得ていること。 内容や文章などに捏造、改ざん、盗用がないこと。 ② 研究の目的 研究の目的が学術的あるいは社会的に意義を持つものであること。 研究目的が明確な問題意識と位置づけを基にしたものであること。 ③ 研究方法 研究目的に沿った実証的・科学的な方法による研究であること。 研究結果を再現できるだけの具体的な情報を含むこと。 ④ 研究成果 研究結果について適切な論証と考察が行われていること。 研究で得られた結果と整合性・説得性のある結論が導かれていること。 ⑤ 論文の体裁 明快で論理的な構成がとられていること。 先行研究あるいは関連研究に対する適切な引用、評価が行われていること。 ⑥ 研究成果の公表 当該教育プログラムが定める学会発表等（発表予定を含む）を行っていること。

研究科	課程	学位論文の評価基準
医理工レギュラトリーサイエンス学環	博士後期	下記の評価項目すべてについて、学位論文としての水準を満たしていると認められたものを合格とする。 ① 研究倫理 研究の内容は関連する法令等や研究倫理を遵守していること。必要に応じて、各種倫理委員会の承認を得ていること。内容や文章などに捏造、改ざん、盗用がないこと。 ② 研究の目的 研究の目的が学術的あるいは社会的に意義を持つものであること。研究目的が明確な問題意識と位置づけをもとにしたものであること。 ③ 研究方法 研究目的に沿った実証的科学的な方法による研究であること。研究結果を再現できるだけの具体的な情報を含むものであること。 ④ 研究成果 研究結果について適切な論証と考察が行われていること。研究で得られた結果と整合性・説得性のある結論が導かれていること。 ⑤ 論文の体裁 明快で論理的な構成がとられていること。先行研究あるいは関連研究に対する適切な引用、評価が行われていること。 ⑥ 研究の独創性 研究が当該分野において先駆的・独創的なものであること。 ⑦ 研究成果の公表 1報以上の論文を査読付きの学術雑誌に公表(Letter、proceedings など含む。掲載決定を含む。)していること。